

各 位

会社名

TOMOEGAWA

登記社名：株式会社巴川製紙所
コード番号 3878

(URL <https://www.tomoegawa.co.jp>)

代表者名
問合せ先

代表取締役社長 井上 善雄
執行役員

CFO 経営戦略本部長 古谷 治正
(T E L 0 5 4 - 2 5 6 - 4 3 1 9)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 14 日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 31 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 35,000	百万円 1,000	百万円 950	百万円 300	円 銭 29.43
今回修正予想 (B)	34,000	650	650	150	14.73
増減額 (B - A)	△1,000	△350	△300	△150	—
増減率 (%)	△2.9	△35.0	△31.6	△50.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	34,647	1,166	1,101	413	40.53

平成 31 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 25,000	百万円 —	百万円 500	百万円 250	円 銭 24.29
今回修正予想 (B)	24,500	—	300	100	9.73
増減額 (B - A)	△500	—	△200	△150	—
増減率 (%)	△2.0	—	△40.0	△60.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 30 年 3 月期)	24,605	416	572	256	24.90

修正の理由

平成 31 年 3 月期の第 3 四半期までの連結業績は、前期第 4 四半期から続く半導体市況やトナー市場の需給調整が、世界経済の緩やかな成長が維持される中で当下半期に回復すると見込んでいたことに対して、米中貿易摩擦激化等の影響を受けて回復が遅れ、ディスプレイ関連製品にも悪影響が及ぶこととなりました。

第 4 四半期以降については、電子材料事業におけるスマートフォンやウェアラブル端末等向けの新製品販売の貢献が拡大することや、機能紙事業における既存製品と新製品の拡販、トナー事業で価格対応を含めた積極的な販売活動を更に進めることなどから、業績の大幅な改善が見込まれるものの、米中貿易摩擦の影響を大きく受けた第 3 四半期までの劣勢を挽回するまでには至らない見通しです。

このような状況を踏まえて、平成 30 年 5 月 14 日に公表しました平成 31 年 3 月期の連結業績予想および個別業績予想につきましては、最新の情報に基づき上記の通り下方修正いたしました。

なお、来期（2020 年 3 月期）第 1 四半期後半には半導体市況が回復する見通しであり、第 5 世代移动通信システム（5G）需要の取り込みにも注力し、トナー事業についても新製品投入を加速していきます。また、機能紙事業についてもパルプ価格の落ち着きからコスト負担が軽減される見通しであり、コージェネレーション設備の通期での貢献も見込まれることから、前期（2018 年 3 月期）以上の収益確保を目指して参ります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以 上